

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	狂犬病予防対策				事業番号	011-239	
担当部署名	健康福祉局	局	保健所	部	動物指導センター		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2)かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実	
			有	取組の方向性	②感染症対策の充実			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.3	
			有	取組	新型コロナウイルス感染症などの感染症対策の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	狂犬病予防法、大阪府動物の愛護及び管理に関する条例、堺市狂犬病予防法施行細則、堺市動物の愛護及び管理に関する条例		

事業の概要

5 事業の実施主体		出先機関（動物指導センター）					
6 事業の対象		市内で飼育されている全ての飼い犬及びその所有者（飼い犬登録数51,590頭（令和8年3月末現在））				対象数	単位
						51,590	頭
7 事業の目的		狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止することで、公衆衛生の向上及び市民生活の安全に資することを目的とする。					
8	事業内容	○狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録、毎年の予防接種実施と注射済票の交付及びその管理にかかる一連の業務 ・登録（鑑札交付）と注射済票交付事務 ・飼い犬台帳（登録と狂犬病予防注射実施記録）管理 ・集合注射の計画・実施、飼い主への通知・登録と予防注射実施率向上のための啓発 ・飼い主に対する登録・予防注射指導 ○放浪犬の保護収容等業務 ・捕獲（保護）、抑留・返還時の狂犬病予防注射実施・咬傷犬の鑑定					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9 主な支出先		委託動物病院、トップインター(株)、N E Cネクスソリューションズ(株)関西支社、J S 関西(株)、水三島紙工(株)他					
10 公民連携・協働事業		—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	狂犬病予防注射実施率	%		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	100	100	100	100
			実績値	57	55		
	達成率	57%	55%				
当該指標を選定した理由		狂犬病予防注射実施率向上を目的とした事業であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		注射済票交付数／飼い犬登録頭数					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	狂犬病予防注射済票交付数	枚		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	30,000	30,000	30,000	
			実績値	28,222	28,471		
			達成率	94%	95%		
当該指標を選定した理由		狂犬病予防注射実施の実数のため。					
目標値の設定根拠・算出方法		過去の実績及び接種率を勘案（集合注射及び動物病院実施件数を含む）					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	狂犬病予防対策	事業番号	011-239
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費内訳	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	22,916	28,913	25,520	23,733	22,961
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	6,430	6,782	11,181	10,063	11,173
	一般財源	16,486	22,131	14,339	13,670	11,788
14	人件費（b）	9,690	16,960	18,240	18,240	19,200
15	年間経費（c）=(a)+(b)	32,606	45,873	43,760	41,973	42,161

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	注射済票及び犬鑑札交付業務	R8	予算	5,669	1,421	消耗品費	R8	予算	821	206
		R7	決算	5,852	1,234		R7	決算	1,050	221
	犬舎清掃業務	R8	予算	878	878	印刷製本費	R8	予算	402	402
		R7	決算	928	928		R7	決算	310	310
	通知関係等封入等業務	R8	予算	2,234	560	通信運搬費	R8	予算	4,705	1,179
		R7	決算	2,300	485		R7	決算	5,021	1,110
	飼い犬登録システム保守	R8	予算	238	238	会計年度任用職員報酬、期末勤勉 手当、通勤費	R8	予算	4,817	4,817
		R7	決算	258	258		R7	決算	3,272	3,272
	引取犬搬送及び負傷犬猫・放浪犬 収容業務	R8	予算	3,960	3,960	旅費	R8	予算	9	9
		R7	決算	3,960	3,960		R7	決算	10	10

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和6年度	令和7年度
		令和6年度	令和7年度
① 注射済票交付数	枚	28,222	28,471
② 上記①にかかる年間経費	千円	45,873	41,973
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	1,625	1,474
算出についての説明等		狂犬病予防対策業務（啓発、注射済票の作成・交付及び管理等）に係る総事業費を、当該年度の注射済票交付枚数で除して算出した。	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	注射済票交付枚数が増加する中で年間経費は減少し、費用対効果は向上している。主な要因は、前年度実施したシステム改修の完了や委託業務の手順削減による委託料の削減である。飼い犬登録数の増加に伴い通知発送に係る通信運搬費や印刷製本費は増加したものの、全体として効率化が図られている。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	注射済票交付については、動物病院での直接交付や電子申請による郵送交付を実施することで、市民の利便性向上を図り、交付促進に寄与している。また、マイクロチップの情報登録をした犬の飼育者に対し引き続き狂犬病予防接種義務の周知を進めることで、更なる接種率の向上を図る。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度から令和7年度にかけて、狂犬病予防対策業務として、飼い主への予防注射の必要性の啓発と、動物病院での注射済票直接交付や電子申請の整備、定期注射の実施など、接種しやすい環境形成を推進してきた。
	有効性	■ 高い □ 低い	狂犬病は致死率が極めて高く、発生予防及びまん延防止のためには予防注射の徹底が不可欠であり、本業務の必要性は高い。取組の結果、注射済票の交付数は増加しており、本業務は狂犬病予防対策として有効である。